

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター北浜担当圏域レベル） 開催報告書	
1 開催日時	令和 7 年 2 月 21 日（金） 10 時 00 分 ～ 11 時 30 分
2 開催場所	浜松市ふれあい交流センター浜北 2 階大会議室
3 参加者	・委員（自治会、民生委員児童委員協議会、地区社協、障がい者相談支援センター、浜北区長寿保険課、地域包括支援センター、CSWなど）： 11 名 ・行政（高齢者福祉課、長寿保険課、まちづくり推進課）： 3 名 ・地域包括支援センター北浜： 1 名 ・市社協（地域支援課、浜北地区センター）： 3 名
4 協議の内容	1. 開 会 2. 会長挨拶 サロンに参加するチラシについて中地区は1/17のボランティア講座で自治会長に配布。東部地区は1/16の民生委員の定例会で民生委員から自治会長へ配布済。既に回覧が済んでいるところもある。回覧も自治連合会の会長の承認をいただいている。西美園下と西美園中でサロンが立ち上がる予定。チラシがきっかけになっているかもしれない。 3. 議 事 （1）サロン活動のチラシについて チラシは昨年末に完成。年明けに浜北地域自治連会長の承認受け回覧済。 【確認したいこと】 ① 回覧が始まったばかりだが、もし反響があれば共有したい。 ② 自治会と民生委員以外のチラシの活用や配布先について ・中地区にある事業所からチラシを見た問い合わせがあった。その事業所では、高齢者向けのスマホ講座を有料で実施している。スマホ講座の案内をサロンの参加者にできないかという相談。話は少し違うが、広報するようであれば、市社協や地区社協を通してもらうよう伝えた。 ・完成した公民館で何かやろうという声も聞いている。 ・中地区社協でのボランティア講座でサロンの説明、チラシを配布した。あれが効果的だったのではないかな。サロンについて地域の方に分かっていただけたのではないかな。 ・西美園下はカラオケクラブを復活させようという話はあるが、町内的にも持ち家の方

とアパートの方との関係もある。子ども会の会長が何かやろうと始めても持ち家の方が反対したりしている事情はある。西美蘭中は3月に公民館完成予定

- ・サロンには登録していないがサロンのような活動をしているところもある。そこへの配慮も必要かと思う。
- ・配布先については、市社協窓口と北浜南部協働センター、浜名区役所の社会福祉課、長寿保険課、まちづくり推進課にお願いしたい。中地区、東部地区のボランティアコーナー、包括へも置きたい。回覧なしが1,000部作成済で、回覧ありは自治会への配布で減っている。新年度落ち着いた頃に自治会長へファイリングしたものを配布。

(2) サロン活動の手引きについて

前回アウトラインを提示したものに内容を加えた。他市町の市社協が作成したものを参考にしている。

【現時点の手引きの内容】

目次、サロンの効果の話、鉄則、手順紹介やQ&A、補助金制度の順で紹介。

活動の写真を使用して、北浜圏域の色が出たような手引きになるといい。

【事前打ち合わせでの意見】

- ・補助金申請について様式集を別冊にする。
- ・行政で行う出前講座の情報も掲載。
- ・サロンの必要性をもう少し加えてもいいのではないか。
- ・北浜を象徴するもの、遠州弁など身近な言葉使いも載せられるといいのでは。
- ・北浜圏域らしさが出るといい。
- ・立ち上げの苦労話やエピソードを載せられるといいのでは。
- ・今日完成ではなく、今日持ち帰ってもらい、上手くいけば年内完成。

【協議体での意見】

- ・4月からの自治会長に渡していきたい、随分参考になると思う。
- ・サロン活動の手引きの配布対象者は？→運営側の方を想定。これから立ち上げたい方、既に活動しているサロンにも配っていいと思う。
- ・貴布祢4区も活動立ち上げはしていたが、進め方にとっても悩んでいる。マンネリ化していくので刺激にはなると思う。
- ・サロン活動の手引きは効果があると思う。中地区社協で1月にボランティア講座を開催した。4/25に地区社協の総会があるため、そこで配布できるといい。
- ・サロンっていろいろあるので難しい。
- ・サロンを立ち上げたい地区がある。相談に来た方へは他のサロンの報告書を見せているため、実例は欲しいと思う。
- ・以前、講演会でされていた市社協浜北地区センター長のサロンの説明が分かりやすか

ったため、その説明を手引きに掲載できるといい。

- ・サロンの具体的な内容、アイデア集のほかにどんなことをやっているのか掲載できるといい。
- ・北浜小で1年生と昔の遊びをした。おはじきや羽子板、あやとりなど子どもも夢中になったが、シニアクラブの方も夢中になった。
- ・内容のマンネリ化の部分や補助金についても載せていいと思う。
- ・12ページの部分をどう伝達していくか、集まっでの説明も必要かと思う。
- ・ヒントになるような写真が掲載できるといい。
- ・写真は何とかなりそうか→地区社協の報告書で使えそうなものがあれば使用していくのはどうか、2・3年前の報告書でも良いものがあれば使用。
→4/25地区社協総会に間に合えば写真も掲載。
- ・イラストを少し加える、サロンのメンバーで書いてくれる方がいたらいい。
- ・方言のアイデアもあまりいれるのもどうか。ほどほどに。
- ・別にお客さんとして気軽に来てもらってもいいのかな、継続しているということが重要。
- ・サロン運営側に手引きを作成していることを知ってもらいながら発行されるといい。
サロンをまわりながら苦労話を聞かせてもらえると、完成したときに運営側も関心もって見てもらえると思う、色んな人の気持ちを盛り込んでいけるといい。
- ・社協で貸し出しできる物も載せてくれるといい。南部協働センターには紙芝居がある。
赤佐地区からカーリングを借りたことがある。
- ・4/25地区社協総会で事務局から手引きの中身を説明してほしい。
- ・13ページの発行元を正式名称にしてほしい。

【決定事項】

おでかけマップとチラシ2枚、手引きをファイリングして中地区、東部地区で配布。

- ・中地区社協の4/25総会で自治会長に配布。
- ・東部地区社協の5月の総会で配布。
- ・サロンの事例、サロンの説明、貸出備品を付け加えていく。

(1) 今後の取り組み、次の課題について

・他の協議体での内容：高齢者の居場所、健康づくりの講座開催、災害時に活かせる見守り体制づくり、移動スーパーの導入について、認知症サポーター養成講座実施、認知症等高齢者に優しいお店作りについて、高齢者の買い物支援、家事支援の導入について、中学生と共同した地域活動、子育てセンターや障がい事業所を招き勉強会、jSTAT MAPを用いた地域の状況把握など。

- ・地域の中での課題感を持ち寄って、この地域の介護予防に何が必要かといった目線で、テーマ出していけるといい。
- ・課題の洗い出しをするなかで各地区共通の課題の話し合いからテーマを決めていけるといい。
- ・1回で済むような取り組みもある。委員で協議しながら考えていきたい。

4. その他

- ・委員報酬は出席回数に応じて3/19振込予定。
- ・次回開催日程については、新年度に入ってから案内。

5 今後の見通し・ 必要な対応

これからサロンを立ち上げようとしている方や既に活動している方に向けて、サロン運営について参考になるような、また初心に帰られるような「サロン活動の手引き」を作成している。サロンに関わる多く人の気持ちが反映されて、有効に活用されるように次年度も引き続き内容の検討を続ける。

また、これまで「高齢者の居場所」について話し合ってきたが、一度ここで区切りとして新たな取り組みを検討していくこととなった。サロン活動の手引きの作成と並行して現在の困りごとや地域の課題について改めて話し合い、今後の取り組みを検討する。